

✓ 児童生徒一人ひとりの学びの可能性を最大限に伸ばす工夫をします。

- “小中のつながり”を大切にしたい取り組みを進めます。
- 教職員の専門性を活かすシステムや研修を充実させます。



学習指導

中学校の教科担任による
乗り入れ授業(6年算数)

小学生に読み聞かせ

生徒会・児童会合同のおいさつ運動

夏休みの宿題助けます

中学生の4部合唱
小学生の澄んだ歌声が響く

先生方の研修

地域の教材を探る研修
(星ヶ塔黒曜石原産地遺跡)

ものづくりの研修

タブレットを使っでの
模擬授業

小中合同の授業研究会

学習指導

みんながわかる指導の工夫で、多様な学びに対応

✓ 教育委員会は、学校や地域のニーズを踏まえて、小中の学びのつながりを図る一貫教育の推進体制を整え、積極的に条件整備を支援します。

- 人的、物的、財政的に、教育課程・学習指導等に関わる支援をします。
- 中学校区ごと、小中学校の「コミュニティスクール(CS)」の一体化を目指し、組織や運営を共に推進します。

中学校区のCSは、地域のより多くの人のつながりの輪を広げます。

家庭科・ミシンお助け隊

総合・キノコの達人

電子黒板を設置して

1人1台タブレットで

先進校(義務教育学校)の視察研修
小中の教職員が一緒に職員室

教育委員会事務局教育総務課に教育企画係を設置し、
小中一貫教育に向けた企画、推進を図っています。

- 学校再編計画の推進
- ICT機器の整備・実践的活用方法の研究
- 授業等に必要な加配教職員の配置
- 市独自の教職員研修の企画、運営
- 先進地域の視察研修の計画と実施等

地域貢献・アフタースクール

読み聞かせ

“自らを拓き、未来を生きる”子どもを育てる

※1 諏訪市の小中一貫教育(施設併設・分離型)が全ての中学校区で始まります!

施設併設(隣接)型

【令和3年度より開始】
上諏訪中学校区(東部地区第I期)

上諏訪小 上諏訪中

教育目標 “自らを拓き、未来を生きる”

施設分離型

諏訪南中学校区(南部地区)

四賀小 中洲小 諏訪南中

教育目標 “自分と友だちを大切に、夢に向かってあゆむ”

施設分離型

諏訪中学校区(東部地区第II期)

城南小 諏訪中

教育目標 “自ら学び、認め合い、未来を創る”

施設分離型

諏訪西中学校区(西部地区)

豊田小 湖南小 諏訪西中

教育目標 “社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる”

小中一貫教育学校は、小学校と中学校で共通する「9年間の一貫した教育目標」を決め、学習や交流等「9年間の学び方の連続性や教育内容の系統性・体系的に配慮した指導の工夫」をして、いわゆる「中1ギャップ(小中の段差)」の緩和をしながら、児童生徒の成長を支える教育です。また、これからの予測困難な時代に対応できるように、児童生徒一人ひとりの「社会的自立」を9年間を通して育む環境を創る教育でもあります。

諏訪市では、令和5年度より各中学校区を小中一貫教育学校とし、可能な部分から一貫教育を積極的に実施していきます。

- 1 高学年(5~6年生)の複数教科で、**教科担任制**を取り入れます。
 - 専門性に根差した質の高い授業を行うことにより、学力や学習意欲の向上が期待できます。
 - 一人ひとりの子どもに、複数の教員が様々な視点から関わり、課題を共有して、組織による子どもの理解へとつなげます。
- 2 教科内容等のつまずきを、**ジョイントカリキュラム**で解消します。
 - 中学校の学習でつまずき易かったり、定着が不十分なことが次年度以降に大きく影響したりする学習内容については、学年(間)における学習内容の取り上げ方や順序、教材等を整理し、学習のつながりを大切に授業をします。
- 3 「**伝え合う力**」※2を育む授業をします。
 - 「なぜ?」「どうして?」という疑問(課題)をもち、その解決に向け情報を集め、協力して課題を解決する授業を工夫します。
 - 自分の学びや意見を自分なりの工夫した表現で伝え合えるよう、授業を展開します。
- 4 児童生徒の**アイディア**を積極的に取り入れながら**異年齢交流**を推進します。
 - 学習、行事、読み聞かせ、運動会、音楽会、文化祭、アフタースクール、ボランティア活動などの企画、運営、参加を、児童生徒の発想・アイディアを生かしながら進めます。また、小中のコミュニティスクールの連携を更に進めます。
- 5 児童生徒一人ひとりの「**教育的ニーズ**に応じた**支援計画**」を基にした**特別支援教育**を進めます。
 - 小中の教員と保護者が、「個の可能性の芽から決め出された教育課題に応じた9年間のカリキュラム」を共有し、子どもの育ちの姿に即した学びを進めます。
 - インクルーシブ教育の一層の実践と授業のユニバーサルデザイン化を進めます。

※1 施設分離型小中一貫教育学校：隣接していない異なる敷地に校舎が別々に設置されている小・中学校において、教育目標及び教育課程に一貫性を持ち、互いに連携を図りながら、教育活動を推進する学校。(学校教育法施行規則第79条の9に規定)

※2 伝え合う力：相手や自分の意見・考えを正確に理解しあう力

✓ 中学校3年生になった子どもの姿を想い、小・中学校の先生と一緒に「学習内容」や「学び方」を考えます。

- “伝え合う”場面が必ずあるように、小グループの学習を工夫します。
- 黒板の書き方等の形式を揃え、小中同じようなスタイルで授業をします。



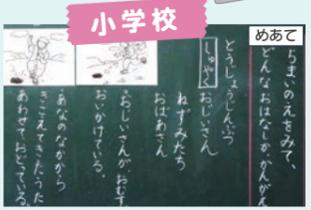
小学生は…

- 「話を聞いてもらえるので嬉しいです。」
- 「分からないことを、分からないと言います。」
- 「友達に説明することで自分の考えが深まりました。また、国語の敬語の学習で意見を言った時にも友達に共感してもらってうれしかったです。」



中学生は…

- 「グループで話し合いながら問題を解くときに、自分の考えを言える。また、考えつかないような友達の意見は、参考になるのでうれしいです。」



✓ 小学生と中学生が、日々の学びを活かした、たくさんの交流をします。

小中一貫教育給食献立の日 小学生がメッセージを届ける

“自分たちが作った味噌を、みんなで一緒に味わいたい。”

「僕たちが作った味噌を味わってくれて、味噌をつくったかいがあった。」

【小学生の感想】

【中学校の放送室で】

“小学生の頑張りすごい！ お味噌汁美味しかった”

「自分たち（3年生）もやってきたから良く分かる。小学生の頑張りすごい。」

「6年生の発表すごく上手だった。来てくれて嬉しかった。」

【中学生の感想】



クラスで味噌づくりに挑戦！ 「美味しくなれ、美味しくなれ…」

小学校6年生のメッセージ

今日のテストおつかれさまでした。中学校に行くと、テストをしている姿を見て、さすが中学生だと思いました。私たちは5年生の時に味噌を作りました。そして今日の給食で、“おらほうの味噌汁”と“さばの味噌焼き”を出してもらいました。中学生のみなさんと先生方にも味わって食べてもらいたいです。



製品づくりに込める作り手の願いを実感。「ここに企業の努力が詰まっているんだね！」

“ふるさと学習「すわっこ学習・諏訪学」” — 子どもたちの願いは、「諏訪のこと、もっともっと知りたい、そして知ってもらいたい。」 学級や一人ひとりが見つけた“ふるさと諏訪”を、地域に、世界に、発信します！ —

かりん

姉妹ペア学級(1・6年生)でカリンの摘果・袋掛け

小学校すわっこ学習

カリンの砂糖漬け

「自分もなじみがなかったけど、諏訪の味を知ってもらいたいという願いを伝えていきたい。」

防災

砂防えん堤の見学

小学校すわっこ学習

下校避難訓練 ～一番近くの公民館へ～

「心に残ったのは、えん堤があっても、きけんということです。だけど、たくさんの命を守れると知り、すごいことだと思いました。」

諏訪湖を楽しむ

「諏訪の魅力伝えるためには、どんな工夫が必要ですか？」

中学生が小学生の前でプレゼン

中学校諏訪学

諏訪のいいところは…「諏訪の水って、すごいだよ！」

✓ 小・中学校共に、「相手に想いを寄せたものづくり」の学びを進めます。

- “想いを言葉に→言葉を形に→形をモノに” “相手意識に立つものづくり科”の学習を中心に、ものづくりの楽しさ・探究心・企画力などを培う、諏訪版キャリア教育を進めます。
- 小中学生一人ひとりが、地域のプロとの出会いで自分自身の将来を考えられるようにします。

言葉の形に…

糸のこを使って

“木工家具づくり”

とがっている角がたくさんあるので、Rをたくさん入れて、ケガをしにくいようにした。理由は、まだ小さい弟がいて、危ないから。また、持ち運ぶときなどに、角があたって危ないから。

【中学生の感想】

形をモノに…

卒業制作の奇譚式

パパとママが好きないろでつくるのが難しかった。パパとママが「すごいね」って言ってくれた。

【小学生の感想】

贈る相手に想いを寄せて“灯ろうづくり”

チャレンジショップ

先輩が図書館に寄贈し、老朽化したベンチをリフォームして再び図書館へ

地域の企業の皆さんがキャリア教育に協力

地域密着型ものづくり講座

ギター製作の難しさは？

工業メッセ

制作した作品を出展・見学

企業の理念に触れる

キャリアメッセ

体育館に各企業のブースを設置し、興味のある企業でお話を聞いたり、体験をしたりしました。

美容師さんと一緒に